

第121話「深く、深く」

in the shade of family tree

木陰の物語



団 士郎

アフリカ大陸の
格言のこじり。



最近耳にした言葉で
もつとも
心動いたものだ。



「早く行きたいと思ったら、
一人で行け。
遠くへ行きたいと思ったら、
みんなで行け！」



動物たちが行っていること
なのだろうと思った。

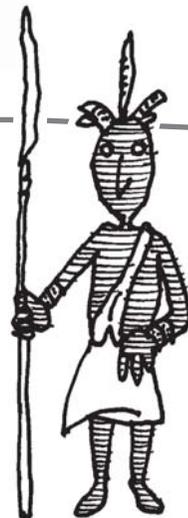


これは誰かが
言ったというより、



人間も動物だ。
これは
なかなか深いぞ
と思った。

その大移動を見て
人がつぶやいたのだろう。



私はごちらかとらいうて
後者のように
生きてきたなと思う。



五十年以上、グループで
漫画家活動を続けている。



この連載も
二十年を超し、
シリーズ
単行本刊行は
十年を超えた。



仲間があったから、
ここまで
続けてこられたのは
確かだ。



それより長く、
家族心理臨床の
仕事も続けてきた。



そちらの世界にも、
たくさんの仲間がいる。



私の座右の銘は、
「深く掘りたいと思ったら
広く掘り始める！」



ずいぶん昔に
この言葉と出会い、
心に留めてきた。



それでいろいろ
手を出すもので
根気がないと思われていた
こともあった。



その結果、今になっても
自分のことを何かの専門家だとは
思えないままだ。



昔、ある友人に言われた。



団さんは「大いなる素人」が
びったりだ。

批判とは思わないし、
謙遜している訳でもない。



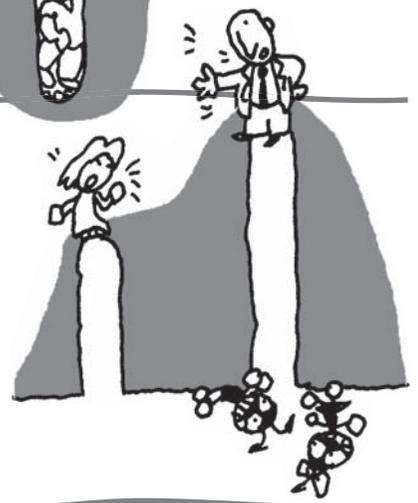
専門が細分化されるのは
必然である。



何でもできる専門家なんて
おかしい。



だからプロと呼ばれる人は
どこかに自分の立ち位置を定め、
そこから世界を語ることになる。



このお約束で
社会を作ってきた。



その結果、
今、世間は
専門家で
溢れている。



過去の
どの時よりも、
有資格者の
多い時代だろう。





しかし、それで人々が
幸せになったかという
疑問が残る。



専門職を増やすことが
市民の幸せに
繋がっていないのだ。

誰もが
限定された範囲のことしか
言えないと思っ
て暮らしている。



「遠くに行きたいと思っ
たら
みんなで行け」



私が今いるのは
やっと膝位の深さになった、
いろんなモノが
入り交じった
ぬるま湯温泉。



漫画物語、
イラスト、
家族相談、
家族療法トレーナー、
Zoom講座、
講演会講師、
web雑誌編集、
本作り等が漂っている。

イメージは
足湯の番頭さんだろうか。
結構多くの方が訪れてくれる。



そこを今もなお
掘り上げようとしている



生きている間に、
どこまで辿り着けるか、
それが楽しみだ。

